

05 若者たちが SOS を出せる場に（子ども）

（ナレーター）皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、岡澤アキラがお届けします。

5

虐待や貧困など家庭の事情で追いつめられ、ひとりぼっちで悩んでいる若者が大勢いることをご存じでしょうか。

福岡市中央区にある NPO 法人「そだちの樹」では、若者を対象に電話とメールで相談を受け付ける「こころライン」を開いています。対応するのは、弁護士や社会福祉士、認定心理士など、さまざまな専門家で構成されるスタッフです。悩みや解決や自立に向けて一緒に考えたり、必要ときには行政機関に同行してくれたりします。

10

「こころライン」に寄せられる悩みは年間3千件。その多くは家庭環境の問題です。19歳の大学生の場合は、こんな状況でした。

15

彼女は母親と二人暮らしで父親の顔は知りません。母親は情緒不安定で、毎日のように「死ぬ」「全部お前のせいだ」

20

と暴言を吐きます。彼女は精神的苦痛から逃れようとリストカットを始め、やがて市販薬を大量摂取するようになりました。

25 そんなある日、大学の学生相談室で紹介された「ココライン」に電話をかけてきたのです。

30 【女性スタッフ役】彼女ののようにフラフラの状態じょうたいで電話でんわしてきても、「ココライン」ではその行動こうどうを決けつして否定ひていせず、冷静れいせいに受け止とめて話はなしを聴ききます。犯罪はんざいや命いのちにかかわるようなケース以外は、本人ほんにんが望のぞまなければ警察けいさつや病院びょういんに通報つうほうもしないし、虐待ぎゃくたいが始はじまった経緯けいゐなど家庭かていの問題もんだいに踏み込ふむこともしませんが、私わたしたちの対応たいおうひとつで、せっかく相談そうだんしてきてくれた相手あいてとの関係かんけいが切きれてしまうからです。

35 (ナレーター) もう一人、高校3年生こうこう ねんせいのケースでは、中学生ちゅうがくせいの頃ころから父親ちちおやによる性的虐待せいいてきぎやくたいを受けていると相談そうだんしてきました。こうした場合は、その子が適切てきせつな保護ほごや擁護ようごを受けられるよう、専門家せんもんかのスタッフが児童相談所じどうそうだんしよにつないだり同行どうこうしたりしています。

40 【女性スタッフ役じよせい】もちろん、行政ぎやうせいにつないで終おわり、ではありません。私わたしたちはその後あとも相談者そうだんしゃと連絡れんらくをとり続けつづけ、「もう大丈夫だいじょうぶ」と、相談者そうだんしゃ自みづからが離はなれていくまで寄り添よいます。

45 (ナレーター) ひとりぼっちで悩み苦くるしんでいる若者わかものはまだ大勢おおぜいいます。私わたしたち大人おとなは彼らかれの小さなSOSえすおーえすをしつかり受け止とめ、そうした若者わかものたちを支ささえていくことが大切たいせつです。